

**Japanese B – Standard level – Paper 1**  
**Japonais B – Niveau moyen – Épreuve 1**  
**Japonés B – Nivel medio – Prueba 1**

Wednesday 4 May 2016 (afternoon)

Mercredi 4 mai 2016 (après-midi)

Miércoles 4 de mayo de 2016 (tarde)

1 h 30 m

---

**Text booklet – Instructions to candidates**

- Do not open this booklet until instructed to do so.
- This booklet contains all of the texts required for paper 1.
- Answer the questions in the question and answer booklet provided.

**Livret de textes – Instructions destinées aux candidats**

- N'ouvrez pas ce livret avant d'y être autorisé(e).
- Ce livret contient tous les textes nécessaires à l'épreuve 1.
- Répondez à toutes les questions dans le livret de questions et réponses fourni.

**Cuaderno de textos – Instrucciones para los alumnos**

- No abra este cuaderno hasta que se lo autoricen.
- Este cuaderno contiene todos los textos para la prueba 1.
- Conteste todas las preguntas en el cuaderno de preguntas y respuestas.

問題 A

## 「おのくん」 から こんにちは！

「おのくん」は2012年の4月20日に みやぎ県で  
生まれました。2011年の地震<sup>じしん</sup>のあとから、東松島市<sup>まつしま</sup>  
のお母さんたちが、くつしたを使って、おのくんを  
手で作っています。その くつしたは、全国の人が  
送ってきます。今、おのくんを作っている人は15人  
います。おのくんは、どの大きさでも一つ千円です。  
おのくんには、お母さんたちの、「新しい未来<sup>みらい</sup>を  
自分たちの手で作ろう」という気持ちが こめられ  
ています。



おのくん



でっかい おのくん

2014年には「でっかい おのくん」も  
できました。「でっかい」は、大きいと  
いう意味<sup>いみ</sup>です。でっかい おのくんは、  
全国を回って、遊びに行ったり、イベン  
トに さんかしたり しています。おのく  
んソングや、おのくんダンスも できて、  
おのくんは どんどん人気が出ています。

さんこう  
参考 : <http://socialimagine.wix.com> (2014)

問題 B

## イギリス王室と文通

京都府<sup>ふかめおか</sup>亀岡市の保津<sup>ほづ</sup>小学校の生徒は、イギリス王室と文通しています。

イギリス王室にジョージ王子が生まれたあと、2013年の7月に6年生がウィリアム王子とキャサリン<sup>ひ</sup>妃に手紙を書きました。「キャサリン<sup>ひ</sup>妃のご出産<sup>しゅつさん</sup>、おめでとうございます。私たちの学校の近くを流れている保津川は秋のもみじの色がとてもきれいです。ぜひ遊びに来てください。」そして、亀岡市<sup>かめおか</sup>から京都市のあらし山までふねで旅する「保津川下り」の特別招待<sup>しょうたい</sup>のチケットも



ウィリアム王子と  
キャサリン<sup>ひ</sup>妃

10 からの手紙が学校にとどいて、生徒は大よろこびでした。ウィリアム王子とキャサリン<sup>ひ</sup>妃の秘書<sup>ひしょ</sup>から英文で「感謝<sup>かんしゃ</sup>の手紙を書くように言われました。保津川下りに行けないことを ざんねんに思っています。日本に行く機会<sup>きかい</sup>があるまで みなさんの招待状<sup>しょうたいじょう</sup>をファイルしておきます。」と書いてありました。

15 イギリス王室の人たちは、1996年までに4回、保津川下りをした【-例-】あります。校長先生は「交流を続けていけば、【-17-】本当に来てくれるかもしれません。【-18-】待っています。」と話していました。生徒の山口さんは、「みんなでいっしょに保津川下りを【-19-】来てほしい。」と話していました。



保津川下り

さんこう  
参考：2013年11月20日づけ朝日小学生新聞

問題 C

# 2030年 ちょう こうれいか 超高齢化社会

2030年には、「ちょうこうれいか 超高齢化社会」が来ると言われています。そのころ、みなさんは30才前後で、社会に出て働いているでしょう。どんな社会がイメージできますか。  
ちょうこうれいか 超高齢化社会をけんきゅうしている秋山さんに聞いてみました。

Q: [- 例 -]

5 A: 65才以上の人が人口の三分の一以上をしめる社会です。

Q: [- 20 -]

10 A: これから「人生90年」の時代じだいが来ると言われ、私たちの生きかたも変わってきます。昔は、仕事を始めたら、定年まで同じ会社にいる人が多かったのですが、今の若い人は、一つの会社に3年ほどつとめてから、新しい仕事をさがします。今の高校生は、「何才までにこれをやる」という考えかたがあまりない社会の中で、長い人生を生きることになります。

Q: [- 21 -]

15 A: こうれいか 高齢化に適した社会のしくみを考える学問です。例えば、たてももの きかん 建物や交通機関などです。現在、しんごう 信号は、人が1秒に1メートル歩くようにできていますが、75才以上のこうれいしゃ 高齢者の多くは このペースでは歩けません。

Q: [- 22 -]

20 A: 私たちのけんきゅうチームは2009年からちば ちょうこうれいか 千葉県で超高齢化社会に適した町を作る社会実験じっけんをしています。こうれいしゃ 高齢者が働く場所を作ったり、こうれいしゃ 高齢者が食事を作るしょくどう 食堂を開いたりしました。すると、こうれいしゃ 高齢者たちの運動うんどうのりょうや会話のりょうがふえました。

Q: [- 23 -]

25 A: 一つ目はけんこうです。若いときからうんどう 運動をしたり食事に気をつけたりしなければなりません。二つ目はお金です。若いときから年金について考えましょう。三つ目は人とのつながりです。今、一人ぐらしのお年よりがふえています。家族だけでなく、友だちや近所の人と うまく つきあっていくことが大切です。

問題 D


やさいソムリエ <sup>もりのつばさ</sup> 森之翼君

① <sup>もりの</sup> 森之君は 2000 年 6 月名古屋生まれです。子どもたちに やさいをおいしく食べてほしいと、レシピを作ったり、テレビに出たりしています。

② 両親は二人とも「やさいソムリエ」です。やさいソムリエは、やさいについて くわしく知っていて、他人に やさいの良さを しょうかいする人です。お父さんが やさいソムリエの勉強をしているのを見て、きょうみを持ち、自分でも教科書を手にして勉強を始めました。2010 年、史上 <sup>ごうかく</sup> 最年少の 9 才でジュニアやさいソムリエのしかくに合格しました。



③ 今は、いろいろなレシピを考えていて、今までに 1300 以上のレシピを考えました。レシピを作っているとき、大事なことは、自分がおいしいと思うことと、やさいが きれいな子どもでも食べやすいレシピを考えることです。やさいの組み合わせや食感、料理の方法など、こまかい <sup>ほうほう</sup> ところまで注意します。

④  去年の 6 月に「やさい ぎらいが なくなる まほうのレシピ」を <sup>しゅつばん</sup> 出版しました。本では、子どもが きれいな やさいを 10 あげて、それをおいしく料理するレシピを考えました。やさいが好きな子どもでも、このレシピを使うと、やさいが もっと好きになるでしょう。<sup>もりの</sup> 森之君は、本を出してから、テレビなどで料理を作ることも ふえて います。

⑤ <sup>もりの</sup> 森之君は学校では美術や家庭科が好きです。<sup>しぜん</sup> 自然も大好きで、森に行ったり、つりをしたりするのが大好きです。<sup>しょうらい</sup> 将来のゆめは、世界の食べ物不足を <sup>ぶそく</sup> 考えて、3 日で 育つ やさいや、肉の あじがする木の実など、新しい やさいを開発することです。

<sup>さんこう</sup> 参考 : [www.yasaisomurie.net](http://www.yasaisomurie.net) (2015)